

第5回 環境パートナーシップ会議設立準備会 <第4回ワークショップ>

～これまでの経緯等～

第1回WS(9月) 9/2(火) 終了

1-1. WG でどんな活動がしたいか? (自由にだす)

1-2. 近い活動イメージを整理して分類する

1-3. どんなWGをつくるかリスト作成 9つのWG案

第2回WS(10月) 10/16(木) 終了

2-1. 来年度から始めるWGを選ぼう

2-2. 来年度から始めるWGの具体的な活動イメージをだそう
(いつ、何をするのか。誰に呼びかけるか)

2-3. 活動計画フォームIを できるところから埋めてみよう

2-3' 活動計画フォームIを作成(宿題)

第3回WS(11月) 11/10(月) 終了

3-1. 活動計画フォームIの活動内容をつめよう

3-2. 活動にかかるコスト(金銭・資材・人・知識 等)をはじいてみよう

3-3. 誰がコストを負担するの? 関わる主体を考えてみよう

(3-3'. 活動計画フォームIIを作成)

3-4. モデルWGの検討

第4回WS(12月) 12/15(月) PM6:00-8:30

4-1. 環境パートナーシップ会議の役割を確認しよう

4-2. 環境パートナーシップ会議で行う全体事業を企画しよう

4-3. 環境パートナーシップ会議の運営について細部をつめよう

～ワーキンググループ・企画運営委員会・総会～

4-4. 環境パートナーシップ会議の財源について考えてみよう

本日のワークショッププログラム

PM6:05-6:10

本日のワークショップ について（おかだ） 5分

PM6:10-6:55 会議全体の役割と事業

PM6:10-6:30 (20分)

3-1. 環境パートナーシップ会議の役割を確認しよう

WS メモをもとに
意見交換を行い
会議の役割を確認する

PM6:30-6:45 (15分)



3-2. 環境パートナーシップ会議で行う全体事業を企画しよう

WS メモを使って
全体事業のアイデアをみんな
出そう

PM6:45-6:55 (10分)



H16 年度にやれそうな全体事業を
抽出しよう

PM6:55-8:00

3-3. 環境パートナーシップ会議の運営について細部をつめよう

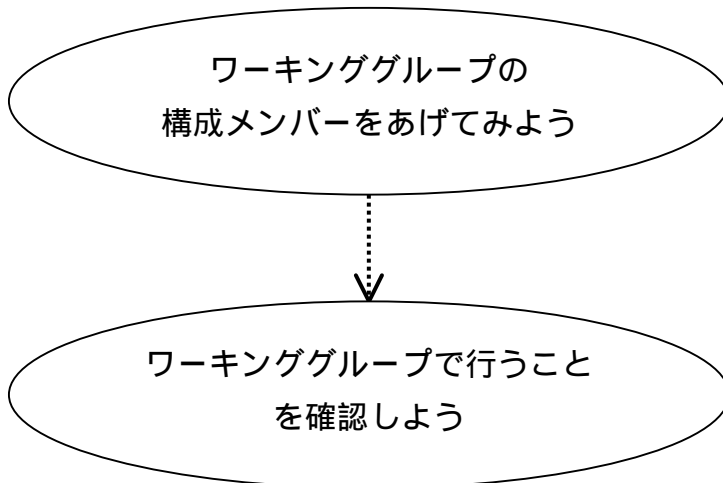
～ワーキンググループ・企画運営委員会・総会～

PM6:55-7:00 (5分)

**3-3-1. 環境パートナーシップの組織の全体像について
(おかだ+事務局)**

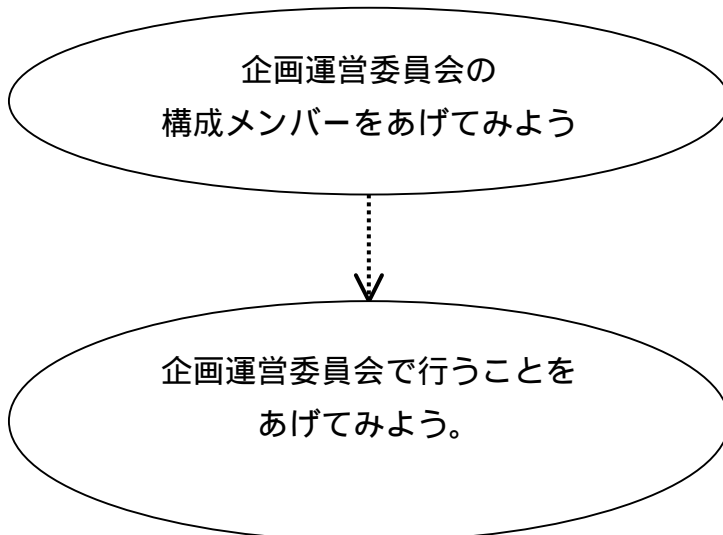
PM7:00-7:15 (15分)

3-3-2. ワーキンググループの運営方法をつめよう



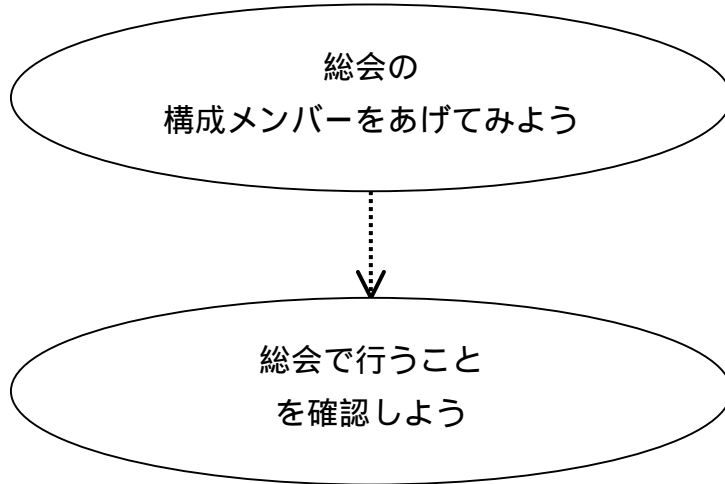
PM7:15-7:45 (30分)

3-3-3. 企画運営委員会の運営方法をつめよう



PM7 : 45-8 : 00 (15分)

3-3-4. 総会の運営方法をつめよう

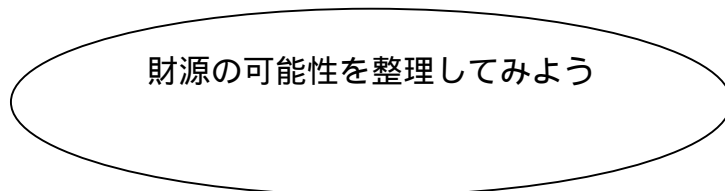


PM8 : 00-8 : 30

3-4. 環境パートナーシップ会議の財源について考えてみよう

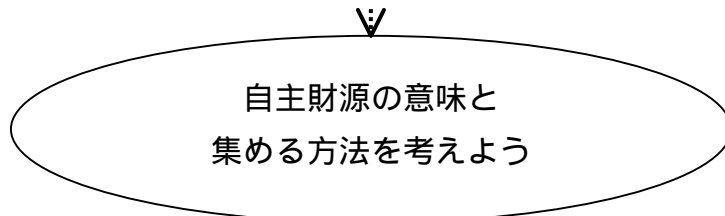
PM8 : 00-8 : 10 (10分)

3-4-1. 会議の全体の財源を検討してみよう



PM8 : 10-8 : 30 (20分)

3-4-2. 持続可能な環境パートナーシップ会議に向けて 自主財源を検討してみよう



会議全体の役割

市民、事業者、市の各主体が対等な立場で協力及び連携しながら具体的な環境保全活動を実践します。

環境問題への正しい理解と知識を深め、環境保全のために行動する人の環を市域全体へ広げ、活性化を図ります。

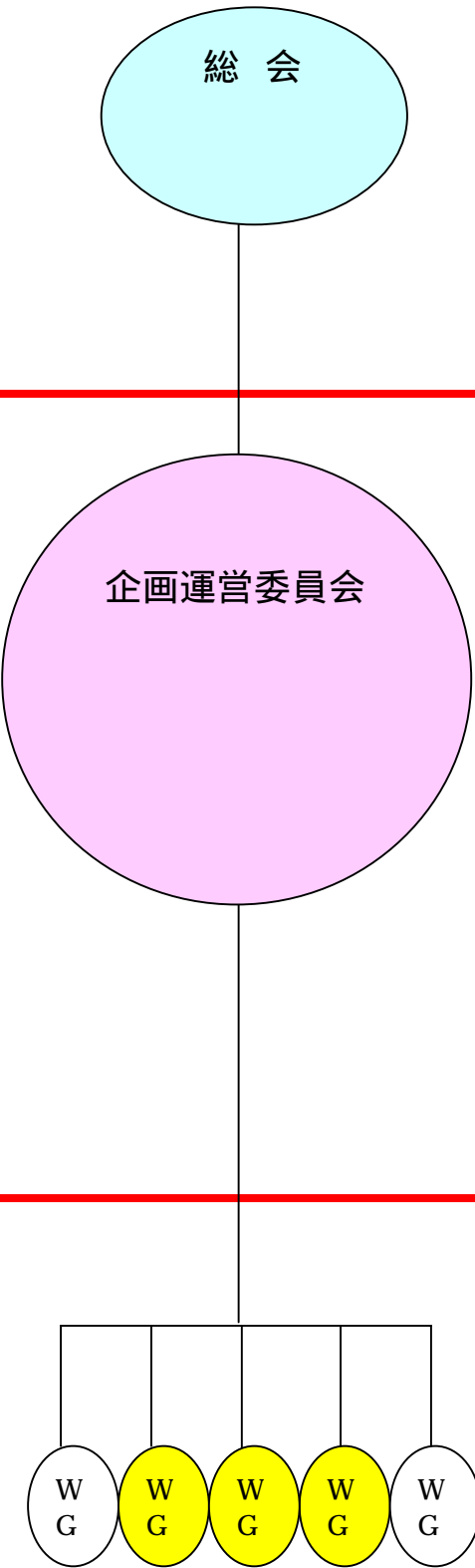
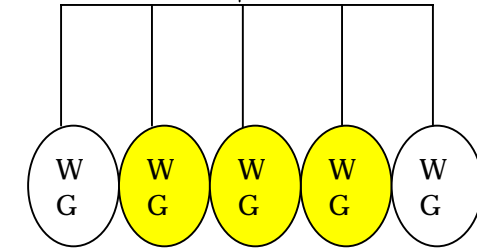
本会の取り組みや環境に関する情報などの積極的な発信と交流を進めます。

事業計画

設立総会を開催します。

市が作成した年次報告書に対して、意見を述べます。

ワーキンググループ毎に策定した活動計画に基づき活動を行います。

組 織	構 成	行うこと	アイデア	財 源
 <p>Organizational chart showing the hierarchy from the General Meeting (総会) to the Planning and Management Committee (企画運営委員会) and then to five Working Groups (WG).</p>				
 <p>企画運営委員会</p>				
 <p>WG WG WG WG WG</p>	<p>リーダー サブリーダー コアスタッフ 会 員</p>	<p>企画運営委員会委員の推薦 WG活動計画(案)の作成 活動報告書の作成 具体的な活動の実践</p>	<p>企画～活動の報告まで係るコアスタッフが必要</p>	

市は横断的
組織をつくる

庁内現在進行形
24課の担当
委員会
H15.7月～

会議全体の役割

市民，事業者，市の各主体が対等な立場で協力及び連携しながら，具体的な環境保全活動を実践します。

環境問題への正しい理解と知識を深め，環境保全のために行動する人の輪を市域全体へ広げ，活性化を図ります。

本会の取り組みや環境に関する情報などの積極的な発信と交流を進めます。

<疑問>

環境の部署
だけで対応
できないこと
がある

→ ターゲットが不明確

環境保全活動や
市の施策について協力する

パートナーシップ会議
参加者が
(市民，行政，事業者)

環境分野に
とどまらない

環境基本計画を推進する
の推進役を担う

4つの環境基本目標について
幅広く議論できる，全体を議論する

協議する場である

責任を担う
ことになる

事業計画

設立総会を開催します。

市が作成した年次報告書に対して、意見を述べます
ワーキンググループごとに策定した活動計画に基づき活動を行います。

新規参加者を呼びかけます。 会員数が必要
(1万人目指す)

推進する人を広く募集

宣伝する・集める(呼びかける)

HP, 環境フェア

環境リーダー養成のための講座

もしくはネットワーク化

自治会などに呼びかける

有料で
やっては？

全体でやるか
WGで手作りで作るか

予算が
いる

活動の
種まき

パートナーシップ会議から投げかけること

WGを市民から提案を受ける準備する

環境活動に関する相談窓口 (市民からの
相談など) ↔ WG

Uネット(HPの中で相談)

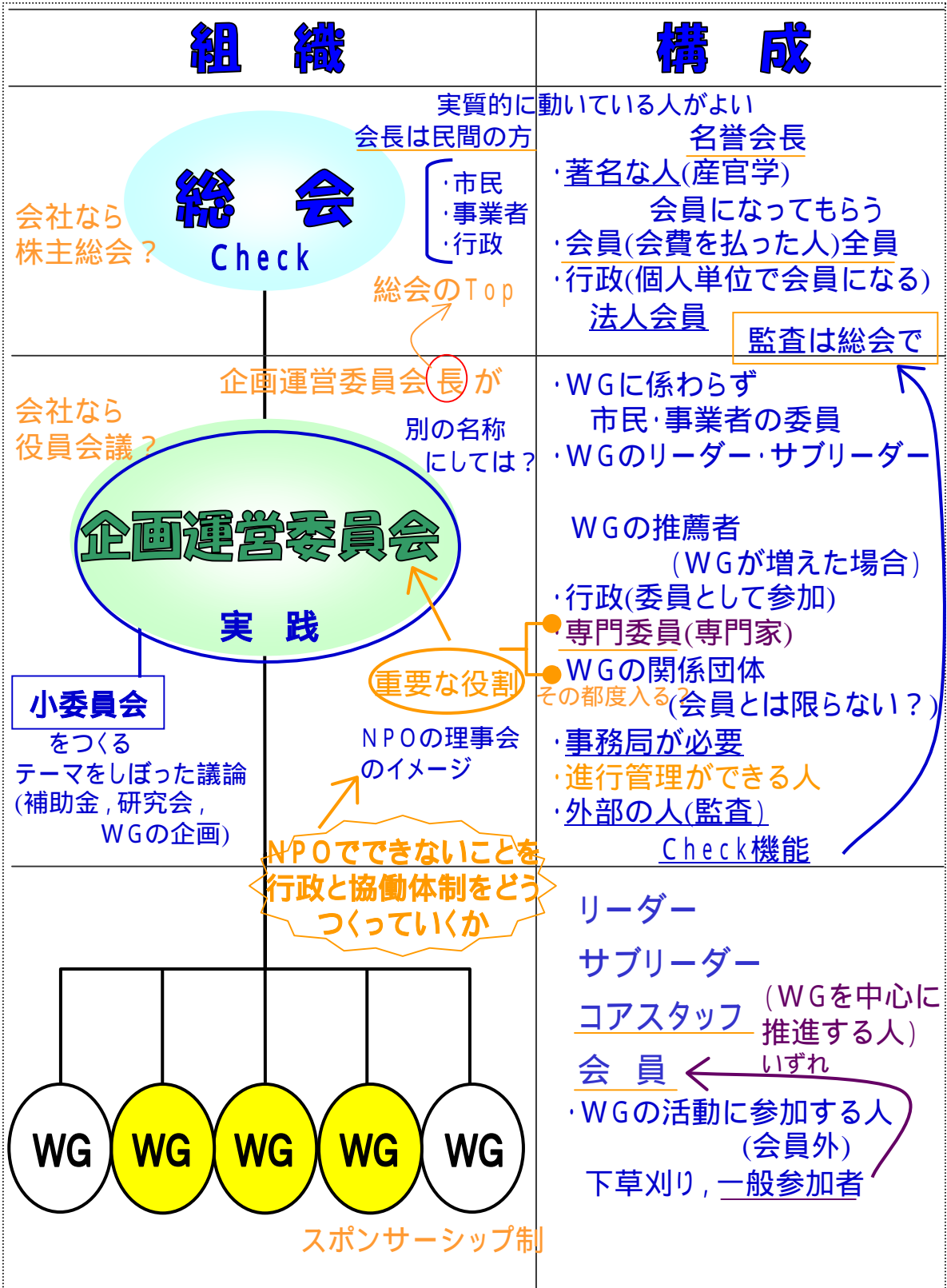
エコショップ

**4つの基本目標と比較しながら
足りない点などを検討していく**

企画運営会議を定期的を開催する

環境フェアに市民サイドの企画をおり込む

cf 実行委員会 or 庁内準備会に入る



行うこと

- ・予算, 決算の承認(審議・決定)
- ・事業計画の承認報告
- ・会長・副会長の決定

企画会議が運営を行う

推薦

- ・WGの活動報告会 進行管理 (Check機能)
- ・市民, 行政, 事業者の基本計画のやるべきことを振り分ける役割 委員長の仕事?
- ・活動のネットワーク会議 明確にする 会員(法人)としての
お金, 人材(デザイナーetc) 意味が出てくる
- ・スポンサーを見つける(cf経済団体, 業界団体) 予算, 決算の案をつくる (財源)
- ・先進事例の見学会 研究委託をする(タダ?)
- ・年次報告書への意見, 提案 WGだけでできない事業 プロジェクト
- ・新規参加者の呼びかけ 活動実績の評価 チーム
- 市民への公表 Check (講演) シンポ

- ・WGの活動計画(案)の作成
- ・企画運営委員会委員の推薦 WG自身もスポンサーを見つける必要
- ・活動報告書の作成
- ・具体的な活動の実践
- ・定期的な情報発信(WG単位) 自己完結しないように

アイデア

- ・環境パートナーシップはガラス張りの組織にしたい。
- ・動きやすい組織にしたい。
- ・市長が入ったほうが良いのでは？
- ・機動力のある組織
- ・有名な人が入っていると入りやすい
- (宣伝効果がある)

著名な方は名誉会長でよい
総会: 全体の審議決定

・企画運営委員に大半の機能が入れればCheckするだけ
・表向きの顔

市民が一番上に立ったほうが協働に

WGの孵化する前の卵をあたためる
(潜在的なWG)

事業の枠組みはここで行う。(決定機関) 新規WGの決定 OK

WGの見直しもある

→ 各WGの活動を知ることができる仕掛け (重要) 次の活動が生まれる

仲間内で会議をしていると慣れあいになる? 偉い人が入ると硬くなる
自分が活動する人が企画運営委員会に入る

・環境リーダーの育成(予算によっては全体事業) ← **すでにいるリーダーをまだ利用しきれていない。**
WGでもでもできる?

・ // のネットワーク 検討事項

実態把握

企画～活動の報告まで係るコアスタッフが必要

* (事務局が必要) 会員が増えると選任が必要

WGを動かす人をどう集めるか, 組織化するか。

財 源

会員になることのメリットは？

ごみの回収量コストを削減できると宣伝

環境に貢献できることが大切

活動には参加できないが、会費を払って援助したい活動に参加したい

こういう方が多い

会員としてのステータスにつながる

具体的なビジョンとWGの位置付けを見せる
ロングスパンの活動を
見せる 視覚化する

これまでの失敗例(具体的な活動がイメージできずに呼びかけていた)

この会議は活動を明確にした上でこの指とまれで集まった人が

環境のことはまだまだ官がやることと考えている人が多い

お金まで出してできるか？

・宇都宮市 補助金による支援を検討 全額ではなく一部負担になる

一定期間ごとに見直しがある

・事務局 庶務・会計・資料作成・連絡窓口
(環境企画課)

今後は協働？

3,000円 / 1人は？

ゆくゆくは
財源の主

・助成金だけでやるのは不安定 付属的
会費は集める
会員を増やしていく
お金を集めるプロジェクト

・寄付金, 講演会の収入(有料)

・民間助成金 自前で商売する

エコShopでプライベート

これが目的化してしまう危惧がある

カードを買ってもらう

メリット

スタートの財源は官に頼らざるを得ない

CSR 企業のステータス

企業はすでにたくさんの会員になっている(整理統合) 既存の整理

・この活動に出すとステータスになる
・常に活動しているところに寄付

・Uネットに広告を入れてもらう

ISOを取った企業を公開

NPO化を考えたも良い

・自主事業がやりやすい
・寄付を受けやすい

他の自治体で良い例は無いか